**≪ 第127回 エフエムぬまづ番組審議会 議事録 ≫**

**1　開催年月日**　　　　　　　令和元年7月12日（金）17:30より

**2　開催場所**　　　　　　　沼津市寿町8-28 メディアプラザ 1F会議室

**3　委員出席**

委員総数　　　　　　　　　5名

出席委員数　　　　　　　　4名

出席委員氏名　　　　　　　荻生　昌平

千野　慎一郎

井上　純代

大川　皓平

　　欠席委員氏名　　　　　　　保坂　典子

放送事業者側出席者名　　　杉山　康則

澤井　宏幸

櫻井　達生

**4　議題**　　　　　　　　 　　 聴取番組名「モーニングスプラッシュ」

令和元年7月5日（金）7:00～10:00　放送分

**5　審議内容**

（事業者側:澤井）定刻になりましたので、只今から第127回番組審議会を開催致します。　　　　　　本日、保坂委員は都合により欠席となりますが、委員総数の2分の1以上の出席となりますので、番組審議会は成立致します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本日、ご審議頂く番組は、毎週月曜日から金曜日、朝7時から10時まで生放送でお届けしています、「モーニングスプラッシュ」です。今回は、先週金曜日に放送された番組のフリートークの部分（30分程度）をお聞きいただきます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　当社の平日生放送については、朝「モーニングスプラッシュ（＝渚）」、昼「ぱれっとタウン（＝彩の街角）」、夕「トワイライトビーチ（＝夕日の海岸）」として、1日を通して「港町」沼津をイメージするようなタイトルを付け、開局当初（1998年）から放送を開始しています。モーニングスプラッシュについては、月曜日から金曜日まで、毎日異なるパーソナリティが、ニュース／天気予報／交通情報や、各市町の広報など、朝の出勤・通学前に欲しい最新情報をお届けしています。　　　　　　　　　　　　　　　それではよろしくお願いします。

（　番　組　視　聴　）

（荻生委員長）　それでは、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。それでは、千野さんの方から感想をお願いします。

（千野委員）　　最初の出だしのところの内容がよく分からず、理解できなかった。「What’s Today」については、知識としては得られるが、とにかく長く、日によっても違うのかもしれないが、誕生日紹介が多すぎる。また、芸能人の紹介が多く、もう少し過去の偉人とかの紹介ができないのか。番組のイメージである「モーニングスプラッシュ」というような“さわやかさ”が（他の部分も聴かなければわからないかもしれないが）、このフリートーク部分だと感じられない。途中で停電のニュースが入り、これは生放送ならではで良かったが、件数だけでなく、どのエリアで起こったのか、もう少し地域性を入れてもいいのではないかと感じた。

（荻生委員長）　金曜日は二人で放送しているが、他の曜日は違った切り口で放送しているのか。それとも、同様の切り口でやっているのか。

（事業者側:澤井）基本構成（ニュース・天気予報・交通情報等）は、基本的にどの曜日も同じである。フリートークは、パーソナリティがそれぞれ決めたネタを披露している。金曜日は特にマニアックなネタが多く、いつも聴いてくれているリスナーや、関係者しかわからないネタであるかもしれない。

（事業者側:杉山）停電情報については、今回初めてであったこともあるが、今後は停電においても、復旧においても、地区がわかれば入れていくよう指導していく。

（井上委員）　　すごく申し訳ないが、私が今まで聴いた番組の中で一番つまらなかった。最初の内容も何を言ってるのか全然わからなかったし、コアなファンがいるのであれば、それはそれで番組として成り立つが、それを除外しても、自分自身初めてと思うほどつまらなかった。どの番組も部分的につまらないことはあっても、楽しい部分があることがこれまでほとんどだったが、今回に関しては、どこもおもしろくなかった。女性パーソナリティに関しては、しゃべり方も割と落ち着いていて、声も悪くないと思うのでもったいない。他の方と組めば、本人の良さがもっと引き出せるのではないかと思う。

（大川委員）　　だらだらと長いという印象。「What’s Today」をネタとしてのフリートークについては、中身が無いように思う。このネタでだらだらと続けるようであれば、生活情報を流してもらった方が良いと思う。男性パーソナリティの声質がちょっと聞き取りづらいし、朝の番組の雰囲気にそぐわない。番組内容や二人の掛け合いも深夜放送の雰囲気である。深夜放送はコアなファンが聴くことが多い感じで、成立しているところもあるが、朝、通勤時間帯に多くの方が聴いている中でこのような感じはどうかなと思うし、一見さんをはじいてしまうのではないか。

（荻生委員長） （What’s Todayについて）全体的に色々な方の誕生日であるとか、今日の過去のページをめくるという感じで、それが自分の人生の中、記憶の中のひとつとして開くということもあるかと思うが、ただ羅列するのではなく、コンセプトを前以って事前に説明してから始めると内容が濃くなり、聴く側の聴き方も変わるのではないか。何か沼津と関わりのある内容を作ってもらうと良いと思う。

（千野委員）　　「今日は何の日」は、全国的な内容でも良いが、静岡県内や沼津に関することで身近な方の内容であったら、もっと興味がわく。身近な情報をリサーチして、地元のコミュニティエフエムとして考えて作ってもらいたいし、芸能人だけをだらだらと紹介しなくても、メインの人を取り上げて、その人の話を広げるとか、紹介するとかした方が良いと思う。

（荻生委員長） 二人でしゃべる会話の楽しさになってしまわずに、マイクの向こうにリスナーがいるという形をとってほしい。確かに楽しそうにはしゃべっているが、聴いている側が加われないような形になると良くない。

（井上委員）　　男性パーソナリティの会話のテンポが悪い。同じ話題でも、会話のテンポの上手な方が話せば内容も伝わると思うが、この方の話す力量では、この内容はこなしきれない印象を持った。一見さんはチャンネルを変えてしまうかもしれない。

（大川委員）　　（パーソナリティは）女性一人でも良いのではないか。「今日は何の日」の中で、ひとつに焦点を当て、それを深掘りするような内容であれば、聴いててもつまらなくならず、勉強になると思うが、ただ羅列するだけでは、最初の方は何の日だったかもわからなくなってしまう。数多く出るといつまで続くのかと思うだけとなる。

（事業者側:杉山）土日の午後とかに放送する番組であれば、それほど違和感は無いと考える。みなさんが言われる通り、朝の番組というのはニュース番組だから、この内容では逸脱してる感じはしている。外部の方の意見を聴きながら、ディレクターと話しをする。

（荻生委員長） 長寿番組というのは、リスナーも変わるし、受け方も変わるし、時間帯のこともあるので、見直す良い機会ではないか。

（事業者側:櫻井）朝の番組をリスナーにとって有意義な時間帯にするよう真摯に受け止める。ライフライン情報については、コミュニティエフエムを聴けばわかるという即時性を持つようにしたい。警察・消防・行政等と連携をとっていき、情報を流すことで、朝のコミュニティエフエムの意義が高まってくれればと思う。

（荻生委員長） 朝は大事な時間でもあるし、地域性を忘れず、リスナーの生活に結びつくようなものにしてもらいたい。生放送のこの時間帯を大事にしながら、新しい取り組みを考えることを審議会からはお願いしたい。

**6　審議会での意見についてとった措置について**

　　　各委員からの意見や感想については、今後の自社制作番組に活かし、より良い番組作

りをする検討材料としました。ご指摘を受けた点は、番組担当に伝え、改善するよう

指示します。

**7　審議会の内容の公表**

公表の方法　　自社ホームページ（<http://www.coast-fm.com/index.html>）にて公表

公表内容　　　番組審議会議事録

公表年月日　　令和元年8月1日

**8　その他の参考事項**

次回番組審議会は、令和元年9月13日（金）17:30より開催